

## 【コードバンとは】

コードバンは臀部の内側を削り出すと現れる金(カネ)と呼ばれる床面の層で、とても細かい繊維が絡まず縦に林立している為、正面から見た時に視覚に奥行きが生まれます。

これが透明の根源であり、他の皮革には持ちえない特別な美しさを生み出しているのです。

しかしこの透明な層はすべての馬に生成されるものではなく、ある一定の条件を満たした一部の個体にしか存在しません。

その為、大きく良質なコードバンは希少性が高く入手が困難になっているのが現状です。

通常レーデルオガワでは一次鞣し(なめし)された革に再加脂(油入れ)します。

UPはその後に秘伝の油をもう一度入れます。

この工程により強度は増し、質感はしっとりとした落ち着いたものとなります。

世界的にはオイル仕上げのコードバンが主流ですが、独自の製法で染料仕上げによるコードバンを製造する約40年の歴史を持ちます。

経年変化を楽しめるアリニン染めのコードバンであり、色が剥がれずに少しずつ抜けていく現象が起きるため、5年・10年と年を重ねるごとにその変化をお楽しみ頂けます。

コードバンは大変希少価値の高い素材で輝きを増すツヤ感から「キングオブレザー」や「革のダイヤモンド」と称され、キメが細かく非常になめらかでしっとりとした質感が特徴的です。